

NITS・教職大学院等	実施機関名・連携機関名 実施機関：茨城県教育研修センター
コラボ研修プログラム	テーマ：学びやすいオープンな場としてのオンライン研修
支援事業報告書	研修等名：【NITS・茨城県教育研修センターコラボ研修】 GIGAスクール構想が実現する未来社会を語る座談会
	開催日時：令和4年2月25日 14時～16時 開催場所：茨城県教育研修センター（茨城県笠間市平町 1410） 参加人数（総数）と参加者の属性：（162人） 小・中学校・義務教育学校教員 38人、高等学校教員 8人、特別支援学校教員 11人、公立教育研究所・教育委員会職員 80人、大学生 10人、その他 15人

内容：

1 パネルディスカッション

ファシリテーター 石戸 奈々子 慶応義塾大学教授
 パネラー 高谷 浩樹 内閣官房 IT 総合戦略室デジタル改革関連法案準備委員
 パネラー 磯津 政明 株式会社ソニー・グローバルエデュケーション代表取締役社長
 パネラー 中村 めぐみ つくば市教育委員会指導主事

GIGA スクール構想が実現することにより、EdTech や STEAM 教育が注目され、児童生徒には、ICT を効果的に活用し、不確実な社会を生き抜くための力を育む創造的な学びが求められている。児童生徒が社会とのつながりを意識して探究したり、創造的に問題解決したりするために必要な学びとは何か。石戸奈々子教授がファシリテーターとなり、パネラーと視聴者からの質問も含め、未来社会を創造するこれからの学びについての座談会を実施した。

2 パネラーからの提言

前半は、各パネラーがそれぞれの立場から以下のような提言を行った。

高谷 浩樹 「教育 DX の目指すもの データ駆動型の教育に転換、学びのデータ（学習面、生活・健康面、教師の指導面）の活用」

磯津 政明 「GIGA スクール構想が実現する未来社会 ～産業界の視点からの期待～」

中村 めぐみ 「つくば市シームレス教育 つくばスタイル科で実現する STEAM×PBL の探求学習」

3 座談会

後半は、視聴者からの質問に答える形で、「GIGA スクール構想について」、「プログラミング教育について」、「データの利活用について」の視点から、未来社会を創造するこれからの学びについての座談会を実施した。

成果：

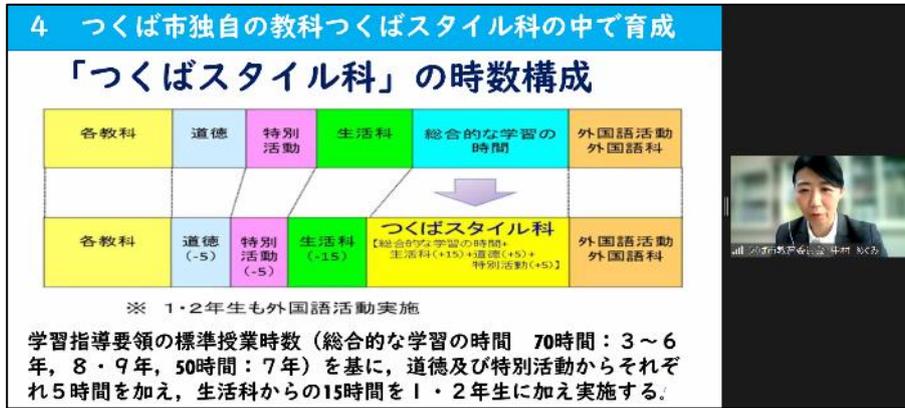
○事後アンケートの結果によると、回答者全員肯定的な意見であった。自由記述欄には、次のような感想が寄せられた。

- ・立場の異なるパネラーの皆様からのお話により、非常に刺激を受けました。
- ・GIGA スクール構想の先を見据えて ICT を活用することについて話を聞くことができ、とても有意義な時間になりました。
- ・大変、中身の濃い有意義な研修でした。現場で教師が活用できるようになるステップを紹介していただき、つくば市の先進的な実践を動画でみることで、イメージをもつことができました。
- ・今日のお話を聞いて、教育はもっと良くなるという確信を持つことができました。教育を変えていくことが日本の未来を変えていくことにつながると思います。
- ・学びのデータを、どのように教師が活用し、どのような授業デザインを構築していけばよいのか、ヒントとなるものがたくさんありました。

アイデアや工夫したこと：

- 経験豊富な講師をファシリテーターとすることで、パネラーのよさを引き出し、テーマに迫る内容となった。
- 質問等はチャットに入力をお願いし、講師に回答をいただくことで、双方向性を担保した。
- ブレイクアウトルームを活用し、リフレクションの時間を確保することで、今後の意識変容や行動変容につながるようにした。

<写真・図など>



資料を提示しながら講演を行う講師と座談会の様子



受講者をグループ分けし、ブレイクアウトルーム使用によるリフレクション